

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成23年3月3日 (2011.3.3)

【公開番号】特開2011-5488(P2011-5488A)
 【公開日】平成23年1月13日 (2011.1.13)
 【年通号数】公開・登録公報2011-002
 【出願番号】特願2010-144733(P2010-144733)
 【国際特許分類】

B 0 1 J 29/08 (2006.01)

C 1 0 G 11/05 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 29/08 M

C 1 0 G 11/05

【手続補正書】
 【提出日】平成23年1月14日 (2011.1.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

継続的な磨耗に起因して、工業的な接触分解装置における触媒は、運転中に次第に失われていく。さらに、平衡触媒の一部は、反応に求められるような平衡触媒活性を維持するために、常に取り除かれる。逆に新たな触媒の補充が余儀なくされる（現状では、一般的に新たな触媒の活性は 85 を超えており、乾性ガスおよびコークスの選択性が非常に悪い）。したがって、系の平衡触媒の残量に対する新たな触媒の適切な補給率がある。平衡触媒は、新たな触媒の継続的な添加、および系の平衡触媒の継続的な損失（人工的な除去が挙げられる）を合わせた作用の結果であることが分かる。現状では、新たな触媒は以下の方法によって接触分解装置に一般的に補充されている。つまり、新たな触媒の貯蔵タンクからの新たな触媒は、手動の供給手段または自動の供給手段に供給され、重量を測定され、脱気および流動化の後に排出される。上記触媒は、それから上記接触分解装置の再生器に送られる。触媒の自動的な重量測定をどのように実現するか、および自動供給プロセス中の設備の故障をどのように低減するかについて、多くの特許文献に記載されている。例えば、中国特許第 1 2 1 0 0 2 9 号および中国特許第 2 3 1 2 0 6 5 Y 号には、接触分解触媒用の小型自動供給システムについて開示されている。